



医療法人社団哺育会
白岡中央総合病院

病院
理念

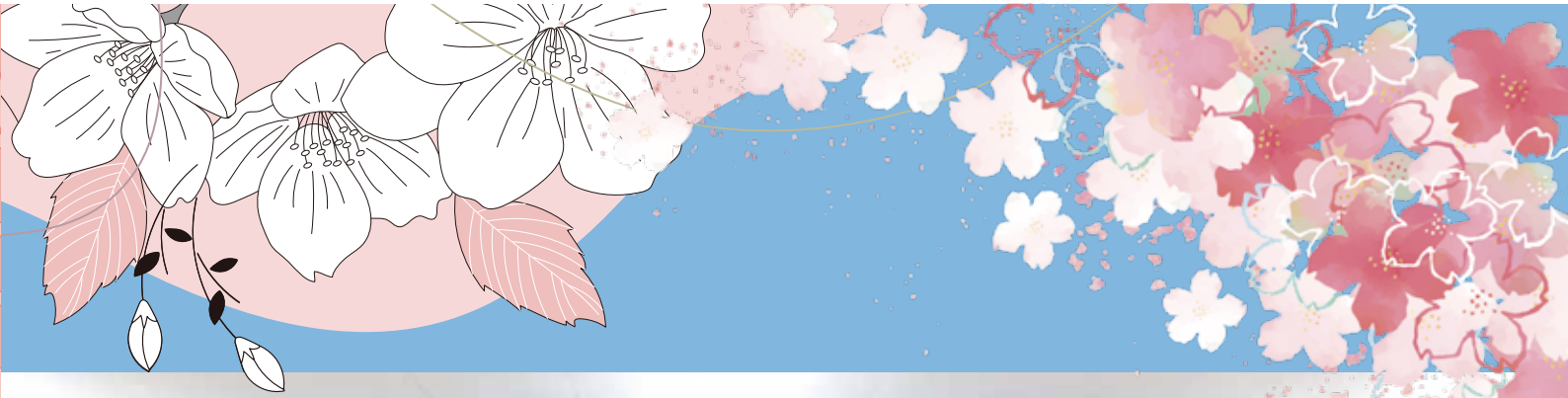
「安全で確実な
わかりやすい医療」

kizahashi

きざはし

102

2022年4月15日発行



※写真撮影時のみマスクを外しています

Spring is just around
the corner.



新

入職医師紹介



内科 神田 大輔 医師 Kanda Daisuke

今年の1月より内科に入職いたしました。群馬県で肝臓内科医として16年間勤務した後に、さいたま市にある彩の国東大宮メディカルセンターで11年仕事をしていました。肝臓病だけでなく、いびきが大きく、寝ている時に息が止まってしまう睡眠時無呼吸症候群など一般内科の診療をしていました。内科的な病気や健康に関するご相談など、地域の皆さんのお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

看護部長ご挨拶



3月21日付で看護部長代行を拝命しました佐藤です。私は、昭和63年に看護学生として入職し、以来30年ほど時代と共に変化し、成長に向けて努力する白岡と共に歩んで参りました。

またこの2年ほど、新型コロナウイルス感染症の長期化により患者さま、ご家族の皆さまには診療・面会制限などで大変ご不便、ご心配をお掛けしました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

私たち看護部は、自己研鑽しながら患者さま、ご家族の方を中心としたエビデンスに基づく看護を展開し、専門職として責任ある行動をとっていきます。

今後も白岡市唯一の総合病院として、地域の皆さまの健康と福祉の増進に努めて参りたいと思いますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

看護部長代行 佐藤 真紀 Sato Maki

💧 売店移転のお知らせ 💧

令和4年1月末より売店が**病院内の泌尿器科外来前**へ移動しました。営業時間は下記の通りです。



営業時間

平日 9:00～16:00

土曜 9:00～14:00

定休日: 日曜日、祝日

売り場は狭くなりましたが、これまでのように治療資材や衛生用品、食料品から松屋のお弁当までバラエティー豊かに取り揃えています。飲食スペースもあります。ご来院の際は是非お立ち寄りください。



4月1日 入職式



※写真撮影時のみマスクを外しています

4月1日に入職式を行いました。総勢41人の新入職員が希望を胸に参加しました。新型コロナウイルス感染症が流行して2年余り、このような時代に当院を選んでくれた新入職員に感謝します。当院は患者さまのお役に立てるような人材に育てることをお約束します。皆さま、どうぞ温かい目で見守ってください。



一年を振り返って



3B病棟

川田 愛梨

Kawata Airi

私はこの一年、学びのある一年であったと感じています。入職前はコロナ渦で満足いく臨床実習が行えず、現場に出てみて不安な気持ちが強くありました。しかしそのような中でも皆さまが丁寧に指導くださりできるようになったことが増え、看護技術が身についたことで成長できたと感じています。また月に1回の研修を通して、技術だけでなく知識も深められました。この学びを活かし、より良い看護を提供していきたいと思います。



3A病棟

浅井 麻友子

Asai Mayuko

入職し気がつけば1年が経ちました。

入職当初は初めてのことで仕事への不安や新生活へ慣れること、目の前のことをこなすことで精一杯でした。しかし日々の患者さまとの関わりや先輩方のご指導を通じ、技術だけでなく知識も少しずつ行えることが増えていきました。患者さまの身近な存在であるからこそ、日々の関わりを大切に、疾患ではなく患者さまの個性を踏まえて看護を行っていきけるよう精進していきたいです。



健康管理課

青木 拓海

Aoki Takumi

入職し駆け足の様に1年が過ぎていきました。そのような中、先輩方のご指導を受け、日々出来ることが増え知識や対応力を向上させることができました。2年目に向け、業務への対応力等さらなるスキルアップが出来るよう日々勉強してまいります。未曾有の災禍の時だからこそ、よりいっそう思いやりの気持ちを忘れず、健康管理を通じて地域医療の中核を担うという事を意識し、安心していただける対応力を身につけることが目標です。



検査技術科

関根 梢恵

Sekine Kozue

先輩方のご指導のもと、できることが増えた一方、今後身につけたいことが山のようにあると気付いた1年でした。目の前のことに精一杯だった日々を越え、2年目はスキルアップの大チャンス。検体検査や心電図、超音波検査等、様々な症例に対応できるよう貪欲に勉強していきます。また、2年目に求められるのは、検査技術科の戦力になること、そして昨年の私のように不安を抱えて入職してきた後輩にとって相談しやすい存在になることだと思います。周りを見渡す余裕が少しずつ出てきた今、さらに広い視野を持つことが目標です。



リハビリテーション技術科

諏訪 みのり

Suwa Minori

私が担当になった【回復期リハビリテーション病棟】は、退院に向けて患者さまを支援していく病棟でした。『回復期』での対象患者さまの疾患は幅広く、戸惑う事ばかりでした。しかし、先輩スタッフの気配りや、時には患者さまに励まされながらも業務ができるようになり、楽しく感じる事が出来ました。先輩方が優しくアドバイスをして下さるので、新入職員の皆さんとも一緒に頑張っていけたら嬉しいです。



薬剤部

小澤 萌々

Ozawa Momo

4月1日に入職し初めて薬剤部で挨拶をした時の緊張を今でも覚えています。そんな私を温かく迎えてくださり日々の忙しい業務の中でも私のできないこと・わからないことに手を止めて向き合ってください先輩方の姿に、当時も今もありがたい気持ちと憧れを抱いています。病棟での業務を中心に多職種の方とも関わるようになり、病院での業務はチームの仕事であることを益々実感しました。今後も日々の業務に真摯に取り組み、あこがれている先輩方の姿に近づけるよう努力していきたいと思っています。

コラム きざはし：医療安全連載第6回



CTやMRI検査後の安全管理

今回の医療安全コラムでは、CTやMRI検査後の白岡中央総合病院における安全管理体制について解説したいと思います。最近、皆さまの中にも、新聞やテレビなどで「がんの見落とし」に関する医療事故のニュースを見聞きされた方も多いのではないのでしょうか。これらの報道の多くは、CTやMRI検査で「がん」などの悪性所見が確認されていたにもかかわらず、なんらかの理由で医師がそれを見逃し、数年経って発覚したというものです。CTやMRIで早期発見できたはずの「がん」が見落とされたまま数年が経過、気付いたときにはがんが進行し手遅れになっているわけです。もしご自身やご家族の身にこのような事が起こったらどうでしょう。「すぐに治療をしていれば結果は違っていたかもしれない」と悔やんでも悔やみきれない気持ちになるはずです。

通常、撮影したCTやMRIの画像は、患者を診察した医師が放射線科医師に読影を依頼します。読影とは、患者の主治医からの依頼をもとに放射線科専門医がCT画像、MRI画像を判断し、画像診断を行い、今後さらに必要になる検査や治療

方針の助言を行うことです。読影結果は放射線科医師から依頼主である医師に報告されます。報告の方法は病院によって多少違いはありますが、直接電話する、第三者（看護師など）を通じて連絡する、メールする、カルテに記載する、電子カルテに結果を入力するなど様々です。当院はケースバイケースで最善の方法で伝えるようにしています。それでも医師が電話に出られなかったり、メールをすぐに見れなかったり、伝達が途切れたり、連絡を受けたとしても医師が読影結果をすぐに確認できない、読影結果を見ることを忘れてしまうことはゼロではないのが現実です。報道されている医療事故ニュースでは、ほぼ共通して放射線科医師の読影で発見された「がん」などの悪性所見が、依頼主である医師にうまく伝わらず、結果、患者さまにも伝えられずそのまま放置されたケースになります。

当院では、放射線科医師が読影した結果（がんなどの悪性所見）が、“確実に”依頼主である医師に伝わり、さらにその結果を受け確実に治療に反映されているかを最後まで追跡する体制を取っています。その役割を担っているのが、医療安全管

管理体制について



医療安全管理課課長
(専従医療安全管理者)

渡邊 幸子

理課(医療安全管理者と専従事務職員)と診療放射線技師で、この追跡体制は2020年2月から実施しています。この取組みが2022年度の診療報酬改定において『報告書管理体制加算』として評価されることとなりました。

今回ご紹介したのは、画像検査の見落としを防止する安全管理体制についてでしたが、このように当院では医療事故を防止し患者さまに安心して医療を受けていただくための様々な取組みを行っていますので、またこのコラムでご紹介できればと思います。

【写真】報告書確認対策チーム(放射線科医師、診療放射線技師、医療安全管理者、医療安全管理課事務職員)



※写真撮影時のみマスクを外しています

認知症ってどういう症状？



寒春もようやく緩んで参りましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？リハビリテーション技術科のオレンジカフェチームです。今回で3回目の掲載となります。昨年10月号の脳トレ(ストループ課題)は行っていただけましたでしょうか？今回のテーマは前回に引き続き、認知症の症状、特に中核症状についてご紹介いたします。

少しおさらいになりますが、認知症の症状は以下の2種類に大別されます。

1. 中核症状

脳の細胞が壊れることにより直接起こる、主に4つの症状を言います。

- ①記憶障害 ②見当識障害
③理解・判断力の低下 ④遂行機能障害

2. 行動、心理症状

記憶障害等の中核症状が元となり、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係が影響して出現する症状を「行動・心理症状」と呼びます。

中核症状の内、①記憶障害は前回ご紹介したため、今回は②見当識障害について説明いたします。

見当識障害

時間や場所など、自分の置かれている状況を正確に認識できなくなってしまう障害のことをいいます。

●症状の進行には順番があり、以下の順で進行していきます。

- ①時間…時間や季節感が薄れ、今が何月何日なのか、何時なのか分からなくなります。
- ②場所…今、自分の居る場所が分からず、道に迷ったり、遠くへ歩いていったりします。
- ③人物…周囲の人との関係、またはその人そのものが誰か分からなくなります。

見当識障害は、御本人自身も大変で不安な思いをしています。お互いにストレスを抱えないために、間違いを責めず、記憶を補い、不安を軽減していくことが大切です。また、認知症サポーターや市町村のコーディネーターをはじめとした地域の助けを得ることも重要です。



次回のオレンジカフェ特集では、中核症状の③理解・判断力の低下を紹介予定です。また、コロナ禍の中でしたが、認知症予防を兼ねて地域の方々と繋がる事が出来るオレンジカフェを昨年末に開催出来ました。これもひとえに、皆さまのお力添えのお蔭と深く感謝いたしております。実際の活動を次ページにてご紹介いたします。ぜひご覧ください！

リハビリテーション技術科 地域包括ケア介護予防チーム

ため息を笑いに変える「オレンジカフェ」

こちらでは昨年開催された「オレンジカフェ」の活動報告をさせていただきます！

オレンジカフェとは認知症の人やその家族、支援する人たちが参加して話し合い、情報交換等を行う「認知症カフェ」のことです。

コロナウイルス感染状況を踏まえて、場所をリハビリ室1階に移動、感染対策を行い再開しました。

活動内容は、参加者と認知症に関わる講義や、認知症予防を目的に、手先を使用した物づくりなどを行っています。

2021年12月開催

オレンジカフェ再開1回目、感染対策のため一人ずつテーブルを用意しソーシャルディスタンスを保って開催しました。前半は当院で作成した講義資料で認知症についての講義を実施、参加された方は興味深く聞いていました。後半で実施したアクリルたわし作成では、特別な道具を使用せず指だけを使います。手順表を見ながら10分程で完成！簡単に作れると皆さま喜ばれていました。

アクリルたわし作り

用意するのはアクリル毛糸と指だけ！



オレンジカフェはコロナウイルス感染症に伴い、一時休止中となっています。感染症が落ちついたときに再開できるよう、準備をしています。再開時期については院内ポスターにて随時案内させていただきます。初めての方も大歓迎ですので、次回開催の際は、是非皆さまご参加ください。

問い合わせは右記病院代表におかけのうえ、
リハビリテーション技術科までお願いします。

☎ 0480-93-0661 (代表)

テーマ

これからの人生をどう生きるか、人生会議してますか？

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称です。

アドバンス・ケア・プランニングとは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを言います。

あなたの希望や価値観は、あなたの望む生活や医療・ケアを受けるためにとても重要な役割を果たします。



画像引用元…広島県地域保健対策協議会 ※引用元の許可いただいております。

家族が、本人の希望がわからず、この選択で本当に良かったのかと悩み続けないためにも、自分の思いを家族や身近な人に伝えておくことは大切です。

参考までに…

白岡市では“マイエンディングノート～自分らしく生きるために～”を市役所にて配布しています。

埼玉県医師会公式ホームページからは“私の意思表示ノート～自分らしい尊厳ある最期を迎えるために～”をダウンロードできます。



人生会議、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）などに関して、ご相談がありましたら、ご連絡下さい。

緩和ケア認定看護師 丸山 奈々

「埼玉県災害時連携病院」
「埼玉地域DMAT指定病院」に指定されました。

当院は2022年1月1日付で、埼玉県知事より左記指定を受けました。

災害時連携病院とは、埼玉県内22か所の災害拠点病院と連携し、中等症患者や容態の安定した重症患者の受け入れをする病院の事です。

埼玉県地域DMATは、県内10か所の医療機関が指定され、埼玉県内で大規模災害や事故などで多数の傷病者が発生した際に県知事からの出動要請を受け出動し、災害や事故現場での情報収集やトリアージ・患者搬送・応急処置・他の医療従事者に対する医療支援といった活動を行います。

2020年12月17・18日の2日間、埼玉独自DMAT養成研修に当院より3名(医師・看護師・理学療法士)が受講し災害医療の講義・救護所での診療・トリアージ実習・トランシーバーや衛星電話の実習・筆記試験を行い、埼玉地域DMAT隊員として登録されました。

救護所実習では他院チームとの合同で行い、傷病者に見立てた人形が次々に搬入され、重症度を観察し限られた医療資源での応急的な処置を行い、医療機関への搬送順を決定していくという難しい実習でした。

近い将来、大地震が発生する可能性が高いと予想されており、埼玉県でも首都直下型地震では被害想定は震度4～6強とも言われています。

有事の際には1人でも多くの「防ぎえた災害死」を減らせるよう訓練をし、活動を行えるよう努力してまいります。

救急看護科 四元 由香

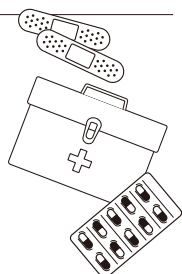
【写真】埼玉地域DMAT隊員 ※写真撮影時のみマスクを外しています



りゅう内科・整形外科医院

住所：〒349-0218
白岡市白岡1501
イリーデ・カーサ1階

☎ 0480-93-2188



診療科目 内科・整形外科

診療時間 【休診日】水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00～12:00	●	●	—	●	●	●	—
午後 15:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—
在宅診療(往診時間) 13:00～14:30	●	●	—	●	●	—	—

院長
中山
虹

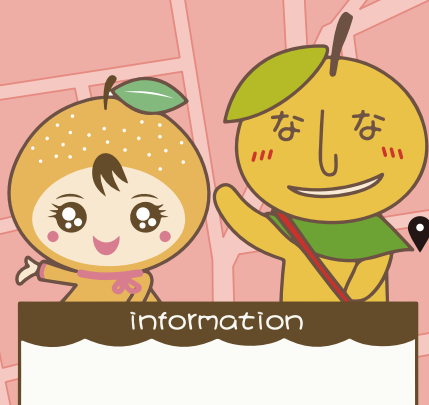


当院は、開業以来20数年、地域に根差した医療を行ってまいりました。また、院長は休診日に千葉県の総合病院に勤務し、常に最新医療を心がけております。地域には、様々な症状の患者さまがいらっしゃいますので、内科・整形外科に限らず、困ったとき、いつでも相談に乗ります。必要に応じて、白岡中央総合病院をはじめ、様々な連携している医療機関を紹介します。希望があれば往診もします。

編集後記

広報委員会 井上

新年度が始まりました。新入職員を迎え入れ、心を新たにしていこうという気持ちでいっぱいです。きざはしにつきましても、フレッシュな記事が届けられるように邁進していきます。



taylor shop



Shiraoka Central
General Hospital

used car dealer



医療法人社団哺育会

白岡中央総合病院

〒349-0217
埼玉県白岡市小久喜938番地12

TEL: 0480-93-0661
FAX: 0480-92-8462



Instagram更新中！

目で見て楽しい情報をお届けしています。いいね！フォローお願いします。



Facebook ページ公開中！！

白岡中央総合病院のことを、より身近に感じていただけるようFacebookのページを公開しています。ぜひ、ご覧ください。



白岡中央総合病院 公式ページ

白岡中央総合病院

検索

<https://www.scghp.jp>

